

ネパール政治ニュース (17年3月) ヘッドライン

政 治	
内政	<p>(1) 1日、ネパール政府と内務省は、地方選挙に向け、7万人の臨時警察官を雇用する予定であると発表した。</p> <p>(2) 2日、ネパール政府は、5月14日に実施予定の地方選挙において、22,600人の治安関係者をネパール全国に派遣することを決定した。</p> <p>(3) 2日、81政党が選挙管理委員会に政治団体登録を行った。</p> <p>(4) 3日、5月14日に予定している地方選挙及びその前哨戦と考えられるトリブバン大学内での学生選挙が実施され、主要政党（ネパール कांग्रेस (NC)、UML、マオイストセンター (MC)）の後ろ盾のある候補者が勝利した。</p> <p>(5) 4日、UMLは、メチ・マハカリ・キャンペーン（選挙キャンペーン集会）をジャパ郡から開始した。同キャンペーンはネパール東部のジャパ郡（メチ・ゾーン）から極西部のカンチャンプール郡（マハカリ・ゾーン）まで、タライに位置するすべての郡で順次開催される予定。</p> <p>(6) 6日、サブタリ郡バスビティ（ネパール東南部）にて、UMLの選挙キャンペーン集会に反対する統民主一マデシ戦線（UDMF）の支持者が同キャンペーンの警備にあたっていた警察の射撃によって死亡した。内務省関係者は、警官は銃撃せざるをえない状況だったと述べた。</p> <p>(7) 6日、UMLは、上記サブタリ郡での事件を受け、現在進行中の「メチ・マハカリ・キャンペーン」を3日間中止し、3月10日に再開する旨を発表した。</p> <p>(8) 7日、タライ地方の治安悪化に伴い、当地国連代表事務所が声明を发出した。</p> <p>(9) 8日、3月6日発生の子ブタリ郡での衝突事件以降、抗議活動が暴徒化している。サブタリ郡及びシラハ郡では、UDMFの抗議活動家によって、放火や投石による車両への攻撃が行われた。</p> <p>(10) 9日、ネパール極西部カンチャンプール郡国境にて、ネパール住民がインドの国境警備隊の射撃によって死亡した。</p> <p>(11) 9日、RPPから閣僚が入閣し、カマル・タパRPP党首が副首相兼連邦・地方開発大臣に、ディラナス・ギリ（RPP）が文化・観光・民間航空大臣にそれぞれ就任した。</p> <p>(12) 9日、当地英国大使館は、タライ地方の治安悪化に伴って、声明を发出した。</p> <p>(13) 10日、3月5日の閣議で承認された閣僚級タスクフォースによる自治体数744の案が官報に公示されたことによって、これまで決着を見なかった地方自治体数の数が、最終的に744で決定した。</p>

	<p>(14) 15日、6日でのサブタリ郡での上記事件を受けて、UDMFが政府支持を撤回すると発表した。</p> <p>(15) 15日、ダハール首相はUDMF幹部と会談を行い、UDMF側に、地方選挙前に、州境を除く問題に関する憲法改正案を可決し、州境については、地方選挙後に委員会を設置して解決することを提案した。これに対し、UDMF幹部は、州境画定を後回しにするダハール首相の提案を拒否した。また、地方選挙実施に反対するため、抗議活動を実施することを決定した。</p> <p>(16) 22日、立法議会において、政党の要件を定めた選挙関連法案が可決された。同法では、立法議会で活動できる政党の要件が定められており、その要件として、国政選挙において、①小選挙区で、少なくとも1議席以上の議席を獲得していること、かつ、②比例制で、少なくとも3%の有効得票数を獲得していることとされた。本規定は次期国政選挙から適用される。</p>
<p>外交</p>	<p>(1) 7日、ネパール側は、バンダリ大統領のインド訪問を3月19日から23日の日程で、インド側に申し入れていたが、3月は、インドの5つの州で議会選挙が実施されるため、この時期のバンダリ大統領のインド訪問は難しくなった。</p> <p>(2) 18日、鳩山元総理がネパールに来訪（～22日）。</p> <p>(3) 21日、ダハール首相は、3月25日に海南省で開催されるボアオ・アジア・フォーラムに出席後、北京に移動して、3月27日に習近平国家主席と会談する予定である。マハト外務大臣をはじめネパール政府高官が同会談に同席する。</p> <p>(4) 22日、5月14日に予定されている地方選挙に関し、ネパール選挙管理委員会は、中国から投票所で使用する間仕切りや文房具の支援を要請している。</p> <p>(5) 25日、3月23日から25日にかけて、ネパールを訪問中の常万国防部長は、23日、ダハール首相と会談を行った（中国の国防部長のネパール訪問は、15年振り）。同会談で、同部長は、ネパールの災害対応及び国連平和維持活動にかかる装備において、ネパール軍を強化するため、2億人民元（注：約30億円）の無償支援を約束した。</p> <p>(6) 25日、バンダリ大統領のインド公式訪問が4月17日から21日に決定した。マダン・バッターライ大統領外交顧問は、同大統領は、18日にムカジー・インド大統領及びモディ首相と会談する予定であると述べた。</p> <p>(7) 27日、ダハール首相は、北京で習近平中国国家主席と会談した。同会談にてダハール首相は習主席に対し、ネパールは一带一路構想に参加のための準備の手続きを進めていることを伝えた。</p> <p>(8) 28日、インドのラウト陸軍参謀長がネパールに到着した。</p>

	(9) 29日、バンダリ大統領は、同参謀長に対し、ネパール軍名誉大将の称号を付与した。
--	---